報道関係者各位

PRESSRELEASE
2026.11.24
レバウェル株式会社

現役介護職の7割超が「追加で収入を得たい」と回答
老後への備えと物価高が背景に

介護職の副業に関する意識調査



レバウェル株式会社が運営する介護職に特化した求人・転職/派遣サービス「レバウェル介護」（https://job.kiracare.jp/ ）は、介護関連の資格を保有する現役介護職259名を対象に、介護職の副業 *1 に関する意識調査を実施いたしました。

*1：本調査では、勤務先以外で追加で介護の仕事に就くことを「副業」と表記しています。

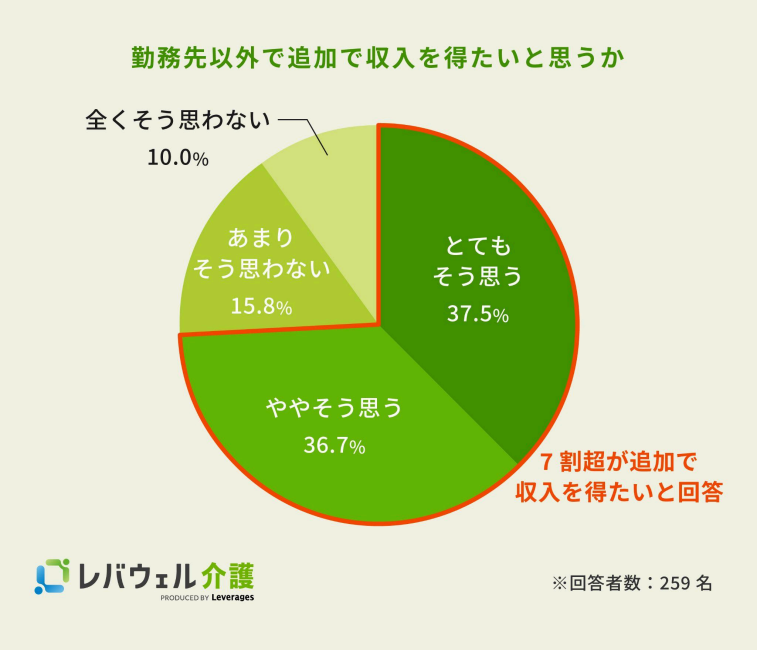
〈調査サマリー〉

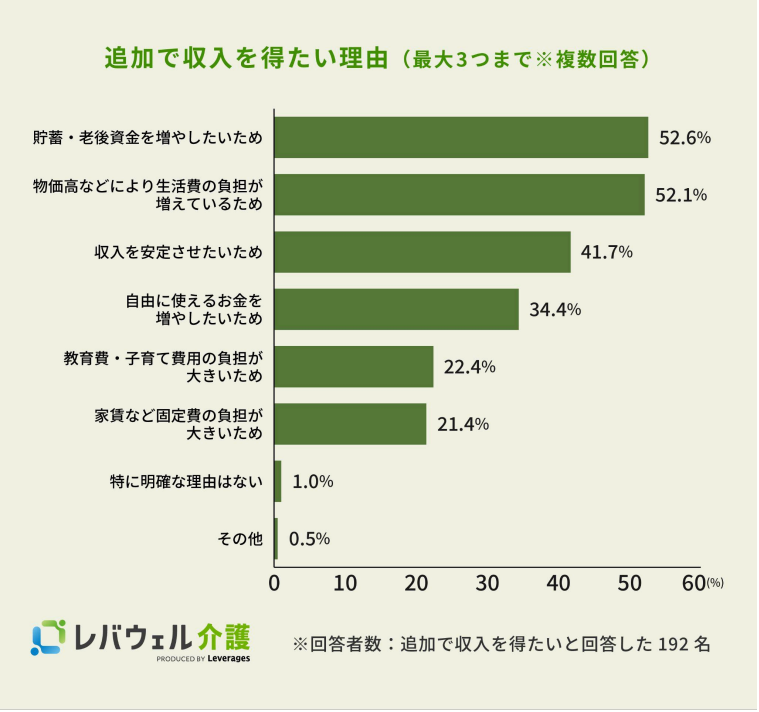
1. 現役介護職の7割超が「追加で収入を得たい」と回答、老後への備えと物価高が背景に
2. 追加収入を希望する介護職の約8割が介護の副業に関心、一方で身体的負担と勤務条件が障壁に
3. 副業の希望は「月2～3日」「1回3～4時間未満」が最多、本業と両立しやすい柔軟な働き方にニーズ

4. 7割超がスポットワークは追加で介護の仕事を始めるきっかけになると回答

1. 現役介護職の7割超が「追加で収入を得たい」と回答、老後への備えと物価高が背景に

現役介護職に、勤務先以外で追加で収入を得たいと思うか聞いたところ、「とてもそう思う（37.5%）」「ややそう思う（36.7%）」を合わせて74.2%となりました。追加で収入を得たい理由は「貯蓄・老後資金を増やしたい（52.6%）」が最多で、「物価高などにより生活費の負担が増えている（52.1%）」が続きました。将来への備えと日々の生活費の両面から、収入を増やす手段が求められていることがうかがえます。

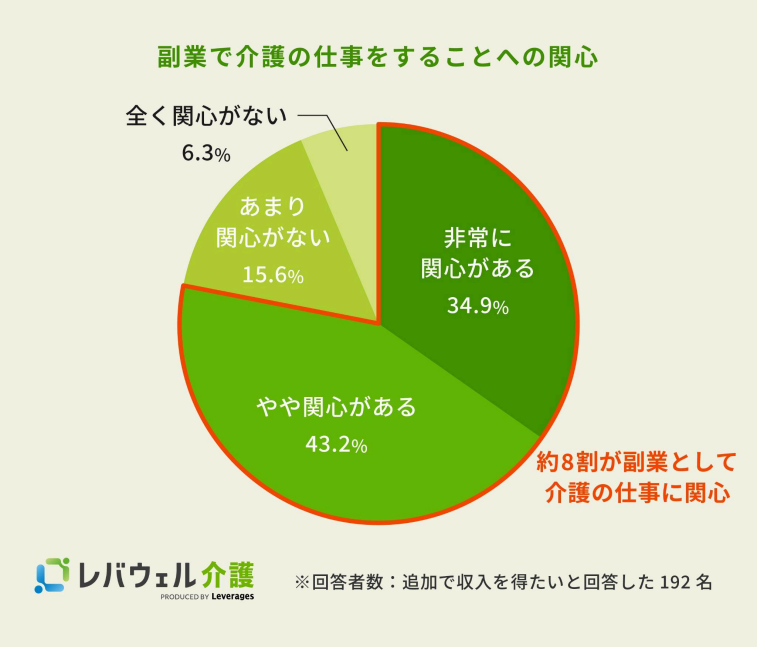


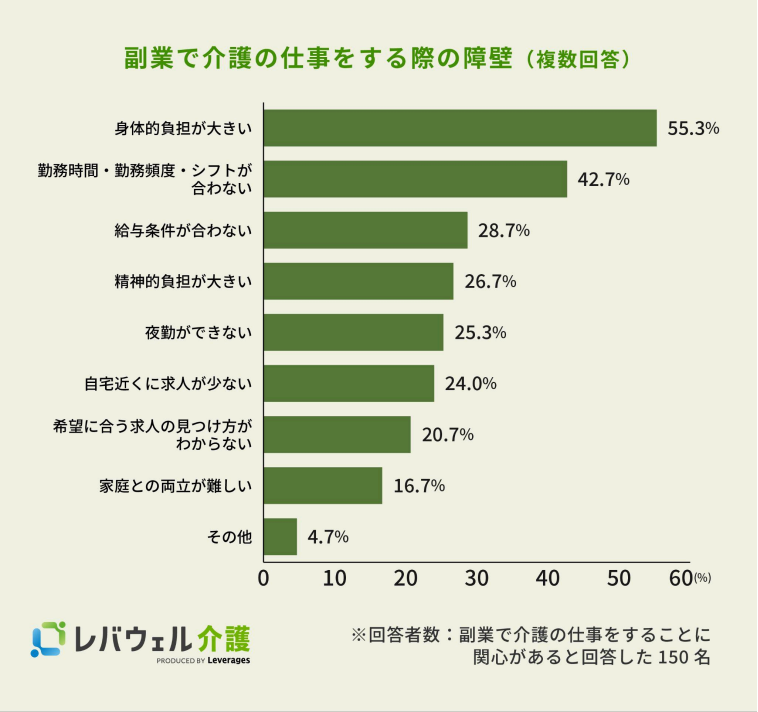


2. 追加収入を希望する介護職の約8割が介護の副業に関心、一方で身体的負担と勤務条件が障壁に

追加で収入を得たいと回答した人に、副業で介護の仕事をすることへの関心を聞いたところ、「非常に関心がある（34.9%）」「やや関心がある（43.2%）」を合わせて78.1%となりました。

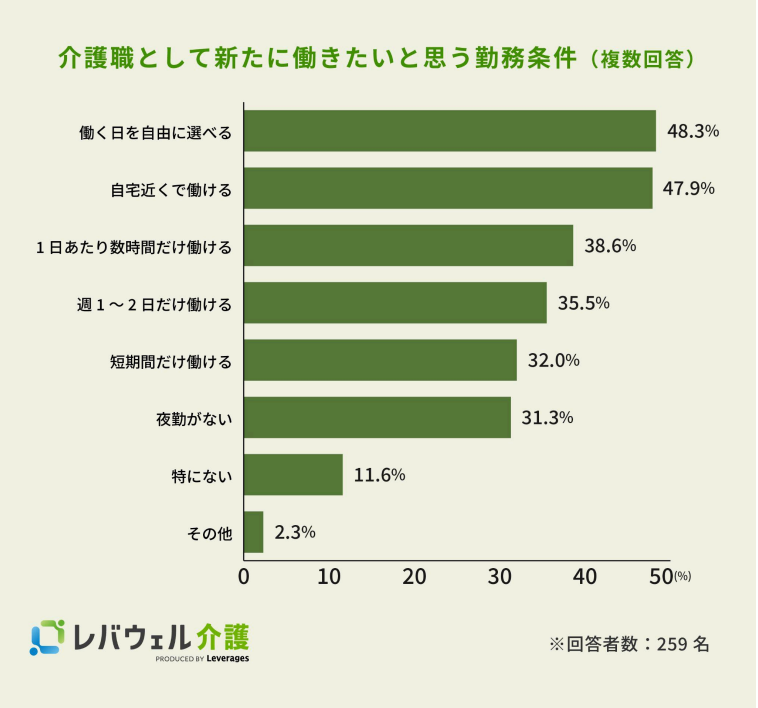
一方、副業の障壁については「身体的負担が大きい（55.3%）」が最多で、「勤務時間・勤務頻度・シフトが合わない（42.7%）」が続きました。関心は高いものの、身体的な負担や勤務条件の不一致が実際に働くうえでのハードルとなっていることがうかがえます。





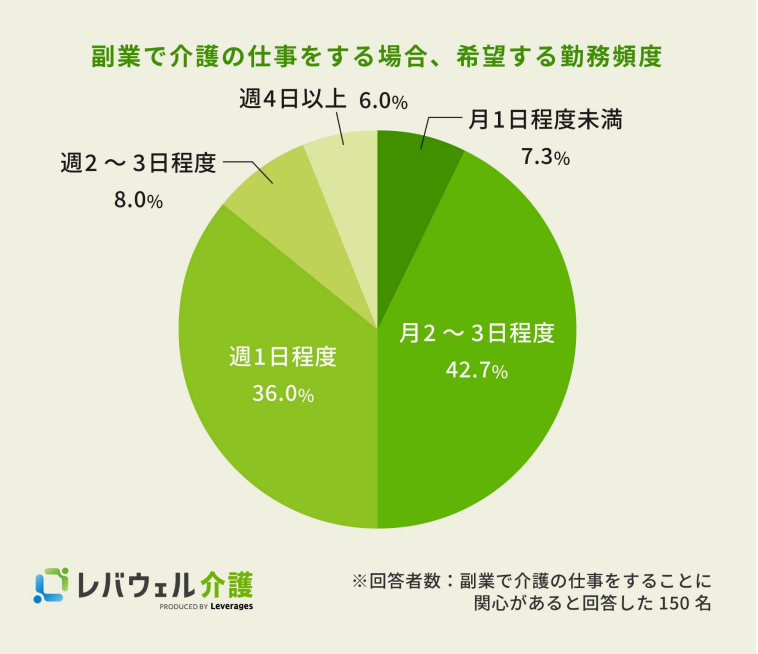
3. 副業の希望は「月2～3日」「1回3～4時間未満」が最多、本業と両立しやすい柔軟な働き方にニーズ

現役介護職に対し、現在の仕事に加えて介護職として新たに働きたいと思う勤務条件は、「働く日を自由に選べる（48.3%）」が最も多く、次いで「自宅近くで働ける（47.9%）」「1日あたり数時間だけ働ける（38.6%）」となりました。

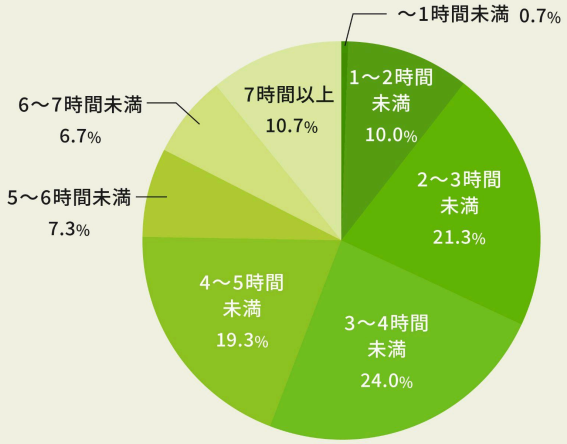


また、介護職として副業を希望する人を対象に、具体的な働き方について尋ねたところ、希望する勤務頻度は「月2～3日程度（42.7%）」が最多で、「週1日程度（36.0%）」が続きました。1回あたりに働きたい勤務時間は、「3～4時間未満（24.0%）」、希望する時間帯は、「9～11時（午前帯）（52.0%）」が最多でした。

片道の許容通勤時間は、「10分未満（12.7%）」「30分未満（68.0%）」を合わせて80.7%となるなど、現役介護職が副業として介護職に従事する際には、本業と両立しやすい、短時間・少日数で自宅近くで働ける柔軟な勤務環境が求められていることがわかりました。



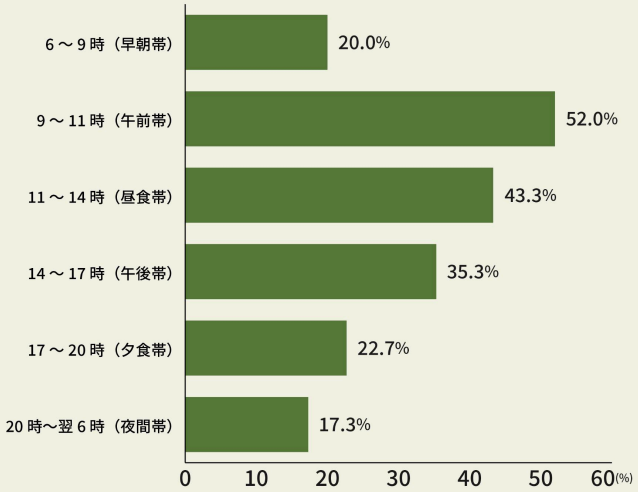
副業で介護の仕事をする場合、1回あたりの希望勤務時間



レバウェル介護 PRODUCED BY Leverages

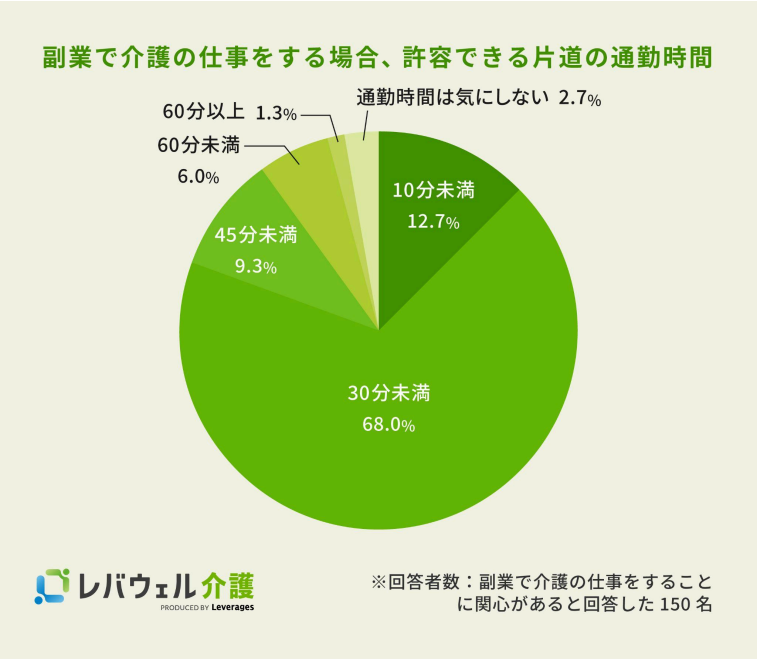
※回答者数：副業で介護の仕事をすることに関心があると回答した 150 名

副業で介護の仕事をする場合、働きやすい時間帯（複数回答）



レバウェル介護 PRODUCED BY Leverages

※回答者数：副業で介護の仕事をすることに関心があると回答した 150 名

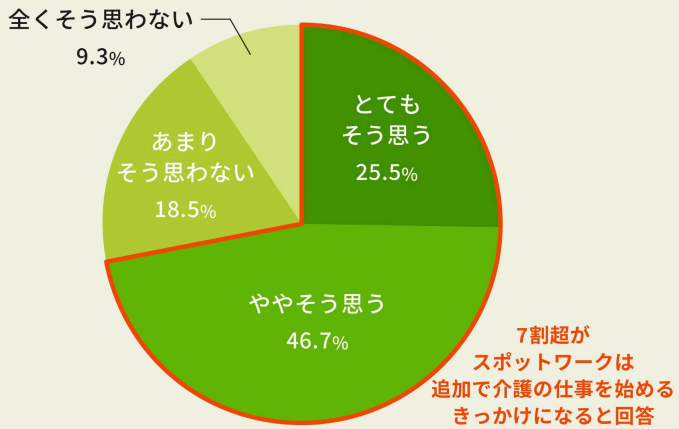


4. 7割超がスポットワークは追加で介護の仕事を始めるきっかけになると回答

スポットワーク *2 が追加で介護の仕事を始めるきっかけになると思うか聞いたところ、「とてもそう思う（25.5%）」「ややそう思う（46.7%）」を合わせて、72.2%が肯定的に回答しました。理由は、「働く日・時間を選べる（52.9%）」「空いた時間を有効活用できる（51.9%）」「気軽に収入を増やせる（47.1%）」「本業や家庭と両立しやすい（34.2%）」の順に多く挙がりました。働く日や時間を柔軟に選べる点が、スポットワークの魅力となっていることがうかがえます。

*2：本調査における「スポットワーク」とは、単発・短時間で就業する働き方（単発・スポット人材としての就業を含む）を指します。

スポットワークは、
追加で介護の仕事を始めるきっかけになると思うか

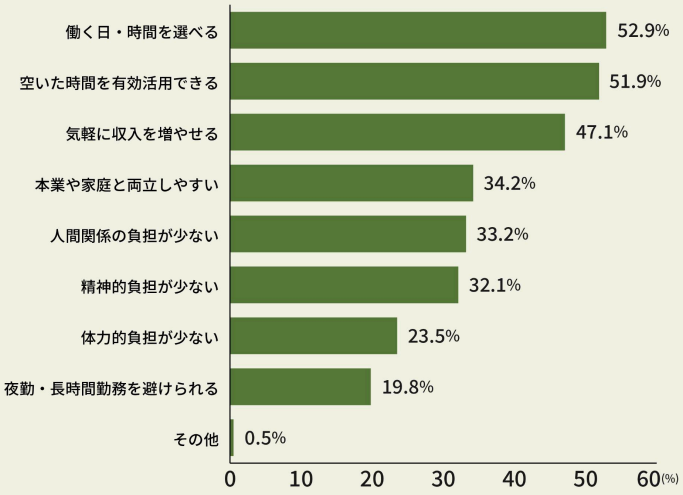


**7割超が
スポットワークは
追加で介護の仕事を始める
きっかけになると回答**

レバウェル介護 PRODUCED BY Leverages

※回答者数：259 名

スポットワークが、追加で介護の仕事を始める
きっかけになると思う理由（複数回答）



レバウェル介護 PRODUCED BY Leverages

※回答者数：スポットワークが追加で介護の仕事を始める
きっかけになると思うと回答した 187 名

〈レバウェル株式会社 取締役社長 小西東 のコメント〉

介護業界の人材不足が続くなか、物価高や将来への備えを背景に、収入を増やしたいと考える現役介護職は少なくありません。今回の調査でも、現役介護職の7割超が老後への備えや物価高による生活費の負担を背景に、追加で収入を得たいと回答しています。

また、追加で収入を得たい人の約8割が介護の仕事での副業に関心を示す一方で、身体的負担やシフトの不一致が副業を始めるうえでの障壁となっており、関心があっても実際の行動に移しにくい状況がうかがえます。こうしたなか、7割超がスポットワークは追加で介護の仕事を始めるきっかけになると回答しており、働く日や時間を自分で選べる柔軟な働き方が、介護の仕事を始める際の一つの選択肢として期待されています。

介護人材の確保は、新たに迎える人材を増やすだけでなく、働きたい人が無理なく働ける機会を整えることも重要です。スポットワークのような柔軟な働き方が広がることは、現役介護職にとって本業と両立しながら収入を増やす機会となるだけでなく、介護事業所にとっても人材確保の新たな選択肢になると考えています。



◆小西 東氏・プロフィール

レバウェル株式会社 取締役社長

看護領域の人材紹介事業に従事し、地方支店の立ち上げをはじめ、採用、組織構築、営業企画などを推進。事業部長として事業運営全般を統括する。
2022年、レバウェル株式会社執行役員に就任し、2025年、取締役に就任。2026年4月1日付で、取締役社長に就任。医療系紹介事業協会代表幹事も務める。

＜調査概要＞

調査年月：2026年7月10日（金）～2026年7月11日（土）
調査方法：インターネット調査
調査主体：レバウェル株式会社
実査委託先：外部調査会社
有効回答数：259名
調査対象：介護関連の資格 *3 を保有する現役介護職

*3：本調査における「介護関連の資格」とは、介護福祉士（認定介護福祉士を含む）、介護福祉士実務者研修（旧ホームヘルパー1級・介護職員基礎研修を含む）、介護職員初任者研修（旧ホームヘルパー2級を含む）を指します。

レバウェル株式会社（ https://corp.levwell.jp/ ）
レバウェル株式会社は、「この国のウェルネスを支える」をビジョンに掲げ、医療・福祉・ヘルスケア業界に特化した人材関連事業およびSaaS事業を展開しています。日本の超高齢化社会において深刻化する労働力不足に対し「人材供給・最適配置」「新たな働き手の確保」「生産性向上」の観点から課題解決を支援し、誰もが安心して医療・福祉・ヘルスケアサービスを受けられる社会の実現に貢献しています。
レバウェル株式会社は、レバレジーズ株式会社のグループ企業です。

▽『レバウェル』 医療・介護・保育・ヘルスケア業界に特化した求人・転職プラットフォーム

http://levwell.jp
▽『レバウェルスクール介護』 介護資格取得スクール
https://job.kiracare.jp/info/school/
▽『わんコネ』 医療福祉施設向け入退院支援SaaS
https://one-conne.com/

レバレジーズ株式会社（ **https://leverages.jp/** ）
本店所在地：東京都渋谷区渋谷二丁目24番12号　渋谷スクランブルスクエア24階 /25階
代表取締役: 岩槻　知秀
資本金　　：5,000万円
設立　　：2005年4月
事業内容　：IT、医療・ヘルスケア領域をはじめとした人材事業、SaaS事業、M&Aコンサルティング事業 など

「社会課題の解決」を軸に、IT、医療・ヘルスケア領域をはじめとした人材事業・SaaS事業、M&Aコンサルティング事業など、国や業界をまたいだ様々な領域でサービスを展開。2005年に創業以来、黒字経営を継続し2025年度は年商1700億を突破しました。業界を絞らないポートフォリオ経営と、各分野のスペシャリストが集うインハウスの組織体制で、時代を代表するグローバル企業を目指します。（会計基準変更後）

本リリースに関する報道関係のお問い合わせ
レバレジーズ株式会社　広報部
MAIL：pr@leverages.jp